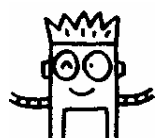


さかもとりょうま 坂本竜馬は、どんな人だったの



さつまはん ちょうしゅうはん どうめい たいせいほうかん
薩摩藩と長州藩を同盟させたり、大政奉還の案
をつくったりして、歴史を陰で動かした人だよ。

坂本竜馬は1835年に、土佐藩（高知県）高知城下の下級武士の家に生まれま
した。地元の道場や江戸の千葉道場で剣術を修行し、土佐の尊王攘夷派の志士に
なりました。1862年に脱藩（藩を抜け出すこと）後、幕府軍艦奉行の勝海舟の
門人になり、海舟が設けた海軍塾や神戸海軍操練所で活躍しました。

社中をつくり、薩摩藩と長州藩を同盟させた

1864年に操練所が廃止されると、薩摩藩の援助で、長崎の亀山に社中をつく
りました。社中は、商社・海運業者として事業を行う団体で、長州藩の武器の密輸
入を手伝ったりしました。1866年には京都で、仲が悪かった薩摩藩と長州藩
の間をとりもち、同盟させることに成功しました（薩長同盟）。その翌日、寺田
屋で、奉行所の捕り方におそわれましたが、寺田屋の養女お竜の早い知らせで、逃
げることができました。その後、お竜と結婚し、九州の霧島温泉などに旅行しまし
た。この旅行が、「日本最初の新婚旅行」といわれています。幕府の第2次長州征
伐のときは、長州側に参加しました。翌年、土佐藩から脱藩の罪を許され、社中は
土佐藩に所属する海援隊になり、竜馬は隊長になりました。

竜馬の「船中八策」が、大政奉還のもとになった

同年6月、長崎から京都に向かう船の中で、土佐藩幹部の後藤象二郎に、土佐藩
がとったほうが良い方針として、将軍は朝廷に政権を返すこと、議会を設けるこ
となど、八つの案（船中八策）を示しました。この案をもとに、土佐藩主の山内容
堂が、大政奉還の実現に向けて動いた結果、10月に將軍慶喜が大政奉還を宣言し
たのです。11月15日の夕方、京都の近江屋で、中岡慎太郎と話しているところ
を、見廻組（幕府の警察隊）におそわれ、33歳で亡くなりました。